

# 2008年度 KAZEスーパーバイカーズminiレース【西日本エリア】

## 大会規則書(各大会共通版)

### 開催概要

- 開催日及び会場(予定) 2008年 6月 1日(日) 猪名川サーキット  
2008年 9月14日(日) 近畿スポーツランド  
2008年 11月15日(土) 岡山国際サーキット 国際レーシングコース
- イベント内容等 各イベントごとの開催案内参照
- 募集台数 同上
- 申込方法及び期間 同上
- 主催 株式会社カワサキ モーターズジャパン 西日本支店内 KAZE西日本事務局

### 参加資格

- KSR110を運転する技能をもっていること。(小型自動二輪運転免許資格以上所持推奨)
- 本大会の趣旨、競技規約、誓約書の内容を理解し遵守できるKAZE会員、及び一般の方。
- 16歳以上20歳未満の方は誓約書に保護者の署名捺印が必要です。また、16歳未満の方は誓約書への保護者の署名捺印、ならびに当日保護者又は保護者の委任する方の同伴が必要です。
- STクラスは、過去もしくは現在、国内競技ライセンス以上の取得者(取得経験者)の参加はできません。国際ライセンス取得者(取得経験者)はSS、OPENクラスの1チームに1名のみとします。
- 耐久レースは過去の大会(06、07年及び本年度各大会含む)で3位以内に入賞された方は1チームに1名までとします。(クラス変更の場合は可)

### クラス

クラス分け		内容
STクラス	ストック クラス	ほとんどノーマル状態の車両でも参加できるクラスです。
SSクラス	スーパー・ストック クラス	ノーマルベースで多少の改造ができるクラスです。
OPクラス	オープン クラス	基本車両規定以外のほとんどのことができるクラスです。

### 競技規則

#### A)主催者の権限

- 天候、その他の理由による競技の中止、延期、再スタート及び競技内容の変更および競技時間の短縮等の決定はすべて主催者に任される。
- 大会に出場する車両及び参加者で、危険を招く恐れがあると主催者が判断した場合は、当該車両及び参加者の出場拒否並びに競技参加中止を決定する権限をもつ。

#### B)ライダーの遵守事項

- 参加者は競技中、競技規則、マナーに従い、またすべての行動について責任をもたなければならない。
- 競技参加にあたり関連して起こった傷害、死亡、その他の事故等で受けた損害に対し、主催者及び大会役員、会場管理者に対して非難や責任の追及、または損害賠償の請求は出来ない。
- 大会当日は競技規則及び競技管理上のあらゆる規定や、競技役員の指示に従わなければならない。
- 競技走行仕様状態車両で一般公道を走行してはならない。(ゼッケンNOを付けた車両を含む)
- パドック内での競技車両移動は原則として押して移動すること。やむを得ず乗車する場合は必ずヘルメットを着用し徐行で移動すること。
- ビギナーもしくは技能的に下位者と思われる他の参加者に対しては思いやりをもった行動をすること。
- ブリーフィング、ライダーズミーティングは各チーム必ず出席の事、欠席の場合ペナルティをとる場合があります。

### C)ライダーの服装と装備

各選手は競技中の安全確保のため、次のものを着用すること(但し、各大会特別規則に準ずることとする)

- ヘルメットは、日本工業規格(JIS規格)・米国スネル規格、ヨーロッパECE規格以上の検査に合格しているシールド付きのフルフェイスタイプのもの(MFJロードレース公認を強く推奨)に限る。ジェットヘルメット、MXタイプは不可とします。
- ウェアは革ツナギ(セパレートタイプは、上下がファスナー等でつながるもの)を着用すること。
- グローブは、皮革製または同等以上の材質・性能のもの。(ショートタイプでない)
- ブーツは皮革製または同等以上の材質によるオートバイ競技(ロードレース)に適したブーツに限る。
- ヘルメットリムーバー、脊椎パッドの装着を推奨します。
- 著しく「破れ」「痛み」「ほつれ」のあるもの、その他本来の機能を果たせない安全性を欠いた装具は不可。

### D)車輛・装備の検査(各大会規則、運営に順ずる)

- 本大会に参加する車輛・装備は大会当日の主催者の行う検査に合格したものでなければならない。
- 主催者は、検査の結果不適当と判断した場合、その個所についての修正を命ずることができる。また、再検査の結果不適当と判断された車輛、及び装備での走行は認められない。
- 競技中においても当規則に反する事実が判明した場合には、走行の中止を命じる場合がある。
- 車輛検査に合格した車輛は、主催者が認めた合格ステッカーを指定場所に貼付する。
- 出場車輛、又は装備が、競技の安全運営のため不適当と認めた場合、出走の中止を命じる場合がある。

### E)車輛規定【各クラス共通事項】

- 車輛は、カワサキ【KSR110】のみとし、安全運転上、完全に整備されているものでなければならない。
- 安全上、ライト、ウインカー、テールライト、リフレクター等の保安部品はテーピングを施すか、取り外すこと。また、サイドスタンド、バックミラー、ナンバープレートは必ず取り外すこと。
- ホイールのサイズは12インチに限る。
- 最大排気量は125cc未満とする(OPENクラス)
- エンジンストップボタンを装着すること。
- フレーム、クランクケース、はノーマルの物を使用すること。
- マフラーには有効な消音器(サイレンサー)を備えていること。
- 使用燃料はレギュラー又はハイオクガソリンのみとする。
- 過給器、インジェクション、外部燃料供給(ニトロなど)は禁止とする(SS・OPENクラス:ラム圧過給は可)。
- ステップにバンクセンサーがついている場合は取り外すこと。
- レバーの折損、ステップの削れ等により車体に鋭利な部分が無いこと。
- 各自、各大会にて指定されたゼッケンベース(タテ14cm×ヨコ16cmくらいのスペース)及びゼッケン番号を、前面・両側面の3箇所に、貼付してくること。(ゼッケン色も各大会にて指定)
- ドレンボルト、オイルフィルターキャップ(ボルト)はワイヤーロック等のゆるみ止め対応をすること。
- 使用するタイヤのグルーピング(溝切り・カッティング)等の加工は不可
- オイルキャッチタンク(金属製250cc以上の容量)を装備すること、但し、ノーマルエアクリーナーボックスを吸入経路とし、ブローバイガス再吸入としている場合は省略可(STクラスはこのため不要とする)
- 推奨事項 :ガソリンキャッチタンク、アンダーカウル(エンジンオイルの全容量を受ける事が出来るもの)、チェーンガードの取付け。

### F)改造の限度

- STクラス [ほとんどノーマル状態の車両で参加できるクラスです]

#### 【変更・交換が可能な部分、部品】

スパークプラグ・プラグキャップ及びハイテンションコード、前後スプロケット、チェーン、ワイヤー類、マフラー、キャブレターインナーパーツ、ブレーキパッド、ハンドルグリップ、タイヤ、手動クラッチへの変更、車体色変更(シートレザー含む)、保安部品等不要な部品の取り外し(但し、ヘッドライトボディー・タンクシュラウド・シートカウル・フロントフェンダの取り外しや形状変更は不可)、アンダーカウルの装着

※タンクシュラウドの浮かし取り付けは可

#### 【推奨事項】

岡山国際サーキットでは使用タイヤについてダンロップ(KR336)、ブリヂストン(S01・S02)または速度表示記号“P”レンジ以上の対応タイヤの装着を推奨します。

## SSクラス [ノーマルベースで多少の改造ができるクラスです]

【変更・交換が可能な部分、部品】 STクラスの項目に加えて以下の部品  
発電機、バッテリー、オイルクーラー、クランクケースの加工(切削加工のみ)、ミッション、スロットル  
キャブレター本体、エアクリーナエレメント変更(パワーフィルタ可)、エアクリーナボックス、マスターシリンダー、ブレー  
キホース類、キャリパー、ブレーキディスク、Fフォークのインナーパーツ、リヤショック、ハンドル、ステップ、  
外装品の変更(シュラウド取り外し、カウリング、シート、シートカウル、ガソリンタンク)、ホイール(12インチのみ)、  
【推奨事項】岡山国際サーキットでの使用タイヤについてダンロップ(KR336)、ブリヂストン(S01・S02)または速度  
表示記号“P”レンジ以上の対応タイヤの装着を推奨します。  
【変更・装着が必須の部分】  
純正エアクリーナボックス取り外し、吸入経路変更の場合は容量250cc以上の金属性オイルキャッチタンクの装着  
及びブローバイガスを吸入経路に再吸入するシステムとすること。  
また有効なエアクリーナを装着すること(ファンネル、ネットのみは不可)

## ● オープンクラス [(E)車両規定を満たせば、その他ほとんどの改造ができるクラスです]

【変更・交換が可能な部分、部品】 STクラス、SSクラスの項目に加えて以下の部品  
点火システム(イグナイタ、コイル)、シリンダー・ピストン(125cc未満)、エンジンヘッド、Fフォーク、スイングアーム、  
フレーム(加工のみ)、  
【変更不可部分】  
クランクケースの変更は不可、フレームの変更は不可、125cc以上の排気量ボアアップは不可  
【変更・装着が必須の部分】  
岡山国際サーキットでの使用タイヤはダンロップ(KR336)か、ブリヂストンの(S01・S02)または速度表示記号“P”  
レンジ以上の対応タイヤの装着すること(但し、雨天時のレインタイヤの使用は可)  
容量250cc以上の金属性オイルキャッチタンクの装着

## G) 走行規定【基本規定】

- コース役員が信号旗合図を示した場合、各ライダーはただちにそれに従わなければならない。
- 悪質なコースの逆走及ショートカットは失格とする。
- コース役員が反則とみなした場合はペナルティを与える。また悪質な場合は失格とする場合がある。
- ライダー交代は必ずピットエリアで行わなければならない。
- ピットイン時は、他車の走行を妨げないよう注意し、ピットエリア内では徐行すること。
- ピットアウト時は、ピットロード出口で必ず安全確認を行い、コースインし、コースを横切ったり、急な進路変更をしないこと。
- 競技中やむを得ずコース上で停止する場合、他車の走行の妨げにならない場所へ即座に移動すること。これに伴って事故が発生した場合、主催者は一切の責任を負わない。
- 計時チェックラインを間違えた場合は、周回チェックをされない。
- ゼッケンナンバーを確認できないチームは周回チェックをされない場合がある。
- 自動計測器を使用する場合、万一故障、放電等計測不能になった場合でも、主催者は一切の責任を負わない。
- エントリーライダー以外の走行は失格とする。二名以上で参加の耐久レースについてははライダーチェンジを必ず行うこと。
- その他競技コース及び補足事項については、大会当日のブリーフィング(ライダーミーティング)で主催者より発表する。欠席したチームは、失格とする場合がある。(必ずチーム員が全員出席すること)
- 各チームのライダー、ピットクルーは全員、参加受理書(レースにおける注意事項)を熟読しておくこと。
- スタート方法及び内容は会場、参加台数、天候等により異なるため、当日変更となる場合がある。
- レースの終了は、規定の時間経過後、チェッカーフラッグにより示される。また、順位はチェッカーを受けた車両が優先され、レース時間終了後、指定時間内にゴールできない車輛(ノーチェッカー)については、未完走となり走行周回等は成績に加算されない。
- その他、各大会ごとの特別規則にしたがって行動すること。

## H) マナー等について

- ピット内では禁煙とする。
- 主催者・コース管理者・オフィシャルの指示に従い、レースを楽しむためにも暴力・暴言などは禁止する。
- クラスに関係なく初心者で、走行に自信の無いライダーは、**ビギナーベルト**を配布しますので指定された部位に装着し走行してください。また、他のライダーは前方にこの装備のライダーがいる場合は、追抜きをするライダーは配慮を持って、やさしく安全に追抜きをすること。
- オイル・ガソリン・タイヤの不法投棄をしない。また飲食物、その他等ゴミは各自持ち帰ること。
- 「KAZEスーパーバイカーズminiレース」はあくまでも参加者全員が楽しめる「レースごっこ」を目的として開催いたしますので、**主旨をご理解の上ご参加ください**。また、レース会場内外において、他の参加者に不愉快と思われる行動や言動にはご注意ください。
- コース設備および周辺住民の迷惑になるような行為をされた参加者には、出場を拒否する場合がありますので、マナーを守り楽しいイベントとなるようご協力をお願いいたします。

## クラス別改造限度一覧表※1

分類	項目	STクラス	SSクラス	OPクラス
点火系	スパークプラグ・キャップ・コード変更	○	○	○
	点火システム(イグナイタ変更)	×	×	○
	点火システム(コイル変更)	×	×	○
	発電機の変更・取り外し	×	○	○
	バッテリー取り外し	×	○	○
エンジン	オイルクーラー取り付け	×	○	○
	シリンダー・ピストンの加工・変更	※2△	※2△	125cc未満
	エンジンヘッド周りの加工・変更	×	×	○
	クランクケースの加工	×	△(切削加工のみ)	△(切削加工のみ)
	ドレン・フィルターワイヤーロック	○(必須)	○(必須)	○(必須)
	オイルキャッチタンクの装着 ※3	×(不要)	△(条件により必須)	○(必須)
駆動系	ミッションの変更	×	○	○
	手動クラッチの取り付け	○	○	○
	スプロケット変更	○	○	○
	チェーンの変更	○	○	○
吸気系	ワイヤー類の変更	○	○	○
	スロットルの変更	×	○	○
	キャブレター本体の加工・変更	×	○	○
	キャブレターインナーパーツ変更	○	○	○
	エアクリナー・エレメントの変更	×	○	○
	エアクリナー・ボックスの加工取り外し	×	※4○	○
	クローズドブローバイシステム ※5	○(必須)	○(必須)	△(推奨)
排気系	マフラーの変更	○	○	○
ブレーキ	ブレーキパッドの変更	○	○	○
	マスターシリンダー、ホースの変更	×	○	○
	キャリパー、ディスクの変更	×	○	○
サス	Fフォークの変更	×	△(インナーはOK)	○
	リヤショックの変更	×	○	○
車体	グリップ変更	○	○	○
	ハンドル変更	×	○	○
	ステップ変更	×	○	○
	スイングアームの加工・変更※6	×	×	○
	フレームの加工・変更	×	※7△	△(加工のみ)

外装	カウリング(フル・アッパー等)の取付	×	○	○
	シート・シートカウルの加工・変更	※8△	○	○
	ガソリンタンクの変更	×	○	○
	タンクシュラウドの取り外し・変更	×	○	○
足周り	タイヤの変更	○	○	※9○
	ホイールの変更	×	○(12インチに限る)	○(12インチに限る)

※1→各クラス改造範囲等は大会ごとに変更、追加する事があるので各大会特別規則に準ずること。

※2→KSR110純正オーバーサイズピストンの使用は可

※3→オイルキャッチタンクは金属製で250ccの容量があるもの。

※4→エアクリーナーボックス取り外しの場合、有効なエアフィルター(パワーフィルター等)を装着する事。

※5→ブローバイガスはエアクリーナーボックス又はオイルキャッチタンクを經由して吸入経路に戻す事。

※6→チェーンガードの取り付けは可。

※7→カウル等外装品取り付け、バックステップ取り付けに伴う、削除・加工は可、補強とみなされる加工は不可

※8→ノーマルシートのアンコ抜き加工による形状変更は可

※9→岡山国際サーキットではダンロップ(KR336)か、ブリヂストン(S01・S02)または速度表示記号“P”レンジ以上の対応タイヤの装着すること(但し、雨天時のレインタイヤの使用は可)

この表で、2007年から変更になったところは赤色で表示しています。

お問合せ先 株式会社カワサキ モーターズジャパン 西日本支店内 KAZE西日本事務局

TEL:06-6180-2765